

平青年團員が 愉快な夏の一日を

小名濱にて過ごす

平青年團にては来る廿四日 の日曜日に小名濱に於て海 水浴を催す事になった、當 日午前六時五十九分平驛發 にて湯本驛に下車し夫れよ り軌道自動車に乗り小名濱 海岸バラックに到着大敷網 の見學其他愉快な催しあり 午後六時四十三分平驛着に 歸平解散の豫定であるが 費用としては晝食と席料を 本團が負擔するから一般團 員は汽車賃と軌道賃だけを 自辨すればよいと因に希望 者は廿二日迄本團宛申込ま れ度き由

社や寺のエン の下を

泊り歩く少年

岩瀬郡杵衝村大字木ノ崎字 宮の花吉田金吾の弟利男(八)は生活困難の爲め須賀川 町八幡町下駄や平栗徳太郎 方に弟子入したが真面目に 働かず無断家出し諸方を徘徊 平町に入り込み社寺の縁 の下等を泊り歩いて居たの を平署刑事が探知して本籍 地に照會し本日主人平栗に 引渡したと

野外演習

平町訓練所が 四倉方面にて

平町青年訓練所にては来る 廿七日四倉、大浦方面に於 けて壯烈なる野外演習を決定 する由にて參觀希望者は同 日午前七時半迄に平商業學 校に參集されたこと尙ほ晝 食は持参、夕食は訓練所よ り出す由

爆薬が潜む

驛員が大騒ぎ

去る十五日常磐線驛員出 五噸積第三列車貨切り粉炭 積載一車が十七日山形縣長

鮭人工孵化

山田村で擴張

石城郡山田村に於ける鮭の 人工孵化場に於ては従來五 十萬尾の鮭魚を孵化し鮫川 に放流飼養し來つたが今回 更に事業を擴張し魚数を倍 加し之れを百萬尾とすべく 計畫を立て其の施設經營に 關し十八日縣水産試験場飛 塚技師の視察を乞ふたがそ の設備頗る完全にして同技

師から東北屈指の人工孵化 場として折紙をつけられた 程で該事業に對しては舟生

郡農會役員決定

會長は安島重三郎氏

石城郡農會にては本日午前 十一時より元郡會議事室に 於て臨時總會を開き役員選 舉の結果左記の如く決定し

屬が實地調査の上七百圓の 縣補助を出すこととなり非常 に前途を有望視されてゐる

石城夏蠶掃立

郡地方の一般夏蠶掃立は八 月三日頃から開始される模 様で本年春蠶に失敗をまね ける養蠶家は何れも其損失 を奪還せんと之が準備に忙 殺されてゐるが掃立枚数は 二萬枚前後の豫想で生繭の 出廻りは八月下旬から九月 初旬にかけてであらうと

汽車が燃出す

機關車の散火

十九日午前六時五十八分頃 常磐線下り貨物列車が平驛 に停車中後部の緩急車屋根 から發火したのを驛員が發 見直に消し止めたので大事 に至らなかつたが一尺四方 を焼いた原因は機關車の散 火からである

兎の耳

暴漢列車を運轉す 分上北郡古間木驛 發三本木行和田鐵 道最終下り列車が七百村の 原野地帯を進行中午後八時 半頃三本木町中島幸吉外八 名が線路上にたちよさがり 列車を妨害つひに停車せし めた上不法にも車掌の中止 もきかず列車に飛乗り無理 矢理に運轉したので鐵道違 反のみならず交通上由々し き問題として三本木署で關係 者取調べ中

縣外教育視察

縣教 育會石城部會では部會内教



家庭庭欄

茄子の鳴焼

ナスの皮を剥き、三分厚位 の輪切りにし、二本の串に さし、胡麻油を両面に塗つ て火にかざし、両面をかへ しながら、二回種油をつけ

夏井校の新築

石城 郡夏井村では工費二萬餘圓

て軟かく焼けた頃両面にね り味噌をつけ最後に一寸あ ぶつて皿に扱きます極く細 かいあられ生が一つまみ そへます。あられ生がは生 がの皮を剥き、出来るだけ 薄く輪切りにして線に打ち あられにして水で一寸洗ひ ます。

割つて一分厚の楕形に切り ます。青唐辛は種子を抜い て細かく刻んでおきます、 鍋に少量の胡麻油を煮立て 其の中へ茄子と唐辛子を入 れていため軟かくなつたら ば、から味噌の濃したのを 少量茄子からまる位に落 しかまませながら又一寸い ためて火からおろします。

當選後の責任を憂へ

一般に尻込みの模様

土地調査委員選舉に就いて

岡部稅務署長語る

土地賃賃價格調査委員の 選舉は来る廿五日で既に 目捷の間に迫つたが多數 地租納稅者中には同選舉 をよく理解しない結果甚 だ無關心の型ちである爲 め岡部平稅務署長は夫れ は甚だしい誤りであると 左記の如く語つた、

土地賃賃價格調査委員選舉 期日たる本月二十五日も今 や目捷に迫り居る折柄各町 村の

選舉の 氣分を聞く

に殆んど無風の狀態にて有

基因す

権者の中には我關せずの有 様で居る人もまゝある様さ く所であるが誠に遺憾に堪 ぬ次第である、之れは本 選舉に興味を持たぬと云ふ ことよく本選舉を理解せ ぬと云ふことか

問題と

思はるゝの である然るに一般有權者に 於て之を經視しある傾向が ないではなからうか、別言 せば有産階級なればなる程

委員の

選出するこ とに努力せられ本事業をし て最終の美を飾らるゝ様留 意せられたき感選舉期日

飛行場を見學

石城 郡赤井村大字赤井青年團員

約五十名は來月上旬頃茨城 縣土浦の阿見飛行場を見學 すると

平町人事

▲出生

- △新町二二 猪狩富雄氏四男幸平
- △田町一七 金子重次氏二男益三
- △月見町一三 山野邊秀松氏長男浩一

▲婚姻

- △埼玉縣北足立郡彌和町 生島貞次 郎氏(五七)南町六四 松本カネ(五二)
- △石城郡湯本町藤崎支村 荒川幸 七氏(二五)田町三六安田キミ(二 三)